



生徒交流会



ポスターセッション



課題研究発表会でのプレゼンテーション



課題研究発表会でみられた活発な質疑応答

二月二十三日に理数科サミット(理数科課題研究発表会)を開催いたしました。今年度は次代創造高校づくり推進事業(理数系活性化推進事業)の一環として、理数科設置当初より実施していた「理数科課題研究発表会」を、県内理数科設置校である山形南高校、鶴岡南高校の職

員および生徒を招聘して「理数科サミット」として開催しました。生徒及び職員との交流会や「生涯科学I」受講生徒によるポスターセッションも開かれ、活発な交流と表現力豊かな発表を通して、理数科独自の体験的な学習活動を内外に示す絶好の機会となりました。

山形南 鶴岡南 本校合同 理数科サミット



Yonezawa Kojokan High School

第8号

平成19年3月31日発行

山形県立
米沢興譲館高等学校

〒992-1443
山形県米沢市大字笹野1101
TEL 0238-38-4741
FAX 0238-38-2531

<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>


2年
草刈 徳之
宮内中出身

理数科サミットに参加して

県の理数科サミットが本校で開催されることとなった。山形南高校と鶴岡南高校の理数科の生徒それぞれ五名の来校をいただき、本校の一年生理数科の生徒五名との交流活動を行った。小グループに分かれ、ゲーム形式の自己紹介から始まり、環境のテーマについて短時間で情報を収集し、まとめ、相互発表しあうことができた。

理数科は生涯科学の授業を毎週二回行っている。二年生では、物理、化学、生物、地学、数学の班に分かれて課題研究に取り組む。私の化学班は、「化学発光」を研究テーマに、化学反応で生じる光エネルギーについて研究した。

光の強さがどのように変化するのか、正確にデータを得るのは容易ではなかった。この方法ではどうだろうか、この方法では…と、意見を出しあって、さまざまな方法を試しては振り出しに戻るといふ作業を何度も繰り返した。その時間はとても長く辛いものだった。しかし、課題研究発表会を通して、どのチームも同じように苦労して考察に至っていることがわかり、研究とはたくさんの方の苦労をしてよりよい結果を出すものだと改めて体験することができた。科学の探究への意欲も高まり、そして、理数科の団結力が深くなった。



門出の言葉

卒業生代表

菊地 明日香

(米沢一中出身)

私がここにいられるのは、ひとえに、私のまわりについてくださった人達のおかげです。友人達は、いつだって笑顔で私を迎え、どんな時も支えてくれました。掛値なしに私を「先輩」と呼んでくれる後輩の存在にも、何度助けられたことが。大学受験に向けて自分のことはさておき、私達のために親身になってくださった先生方には改めて尊敬の念を抱きました。温かい人達に囲まれたこの幸せをどう感謝したらよいのか、一生かかっても、きつと伝えきれないでしょう。本当にありがとうございました。そして、ここまでくるのに「一番支えてくれたのは、やはり家族でした。どこまでも自分勝手な私達をいっただて温かく受けとめてくれました。本当は感謝しているのに、どうにも気恥ずかしく、感謝の言が言えないことをお許しください。これまで本当にありがとうございました。

興譲館での三年間は、充実したものであるとともに辛いものもありました。同じ高校生が課題に追われることなく、悠々と過ごしているのをうらやましく思うこともありました。しかし、私はこの三年間に決して悔いはありません。興譲館に入学し、毎時間、真摯に教えてくださる先生方のお姿や、母校を誇りを持ち、各界の第一線で活躍なさっている諸先輩方のお話などから興譲館ならではの高い志と思いやりを学ばせていただきました。そして、体育祭・文化祭などで、全員が団結したときの力の強さなども知りました。また、仲間と勉強でも部活動でも切磋琢磨し合い、多くを学び、様々な考え方に触れ、興譲館の精神を培うことができたことは、一生の宝となることでしょう。

夢を抱いてそれぞれの道へ 第59回卒業証書授与式



はなむけ の言葉

在校生代表

南齋 宏駿

(米沢一中出身)

私たちは先輩方から、全員が心を合わせて、一つの目標を志せば、その目標がどんなに高くとも達成できるのだということを教えていただきました。

これから私たちは、先輩方が築き上げてこられた伝統を受け継ぎ、新しく入学してくる後輩たちに伝えていくことになりました。後輩たちの目標となり、このすばらしい伝統を更に発展させることができるよう努力して参りますことを、在校生一同、固くお誓い申し上げます。



「興譲館精神」を誇りに



卒業生保護者
芳村 強さん

卒業おめでとございます。

まだあどけなさが残る顔で、胸いっぱい希望とともにここに興譲館の門を潜つてから、もう三年の月日が流れました。今、卒業証書を手にしたあなたの顔には、あの当時のあどけなさは無く、自信と、達成感と、そして明日への期待が溢れ、とても眩しく感じられます。

それは、この三年間のあなたの努力と成長の証だと思います。

しかし、忘れないで欲しいと思います。あなたを常に陰で支え、あなたの最高の応援団である保護者の方がいたことを。あなたの目標達成のために、家庭を顧みることをも忘れるほどに指導してくださった先生がいたことを。そして、共に励ましあい支えあった仲間がいたことを。

あなたが飛び立つ社会は、これまでとは違う厳しさがあり、困難に直面することもあるでしょう。そのときは、この興譲館で学んだ精神を思い出してください。この精神はきっと、栄光への道へと、あなたを導いてくれることでしょう。

最後に、あなたにお願いがあります。常に望みを持ち努力する人であってください。常に人を尊敬し世のために尽くそうとする人であってください。多くの先輩がそうであったように。それが、興譲館建学の精神であり、興譲館卒業生の誇りだから。



3月20日(火)・21日(水)の1泊2日の日程で、本校セミナーハウスを会場にし、平成18年度米沢興譲館高等学校生徒自治会ニューリーダー研修会が行われました。この研修会では、生徒自治会におけるリーダーとしての自覚を促し、資質の向上を図ると共に、新執行部の絆を深め信頼関係を構築するため、そして、来年度の自治会活動の方向性をさだめ、新年度スムーズに諸活動に取り組める体制を築くためという2つのことをテーマにし、活発な討論が行われました。以下の文章は、この研修会に参加した新生徒自治会長の鈴木 久慶君のものです。

生徒自治会ニューリーダー研修会

『初めの一步』



自治会長
鈴木 久慶
(沖郷中出身)

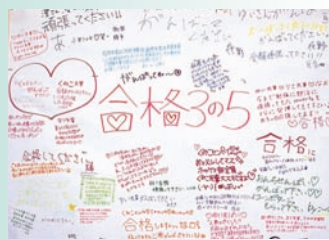
三月二十日・二十一日に自治会のリーダー研修が行われました。この研修では、今年度自治会の目標や心構えを話し合いました。ここでは、この研修から学んだ事を元に、今後の自治会の在り方について述べたいと思います。

一点目として、興譲祭が挙げられました。昨年度は二六八人の来場者を記録し大盛況となりました。しかし、その人数に対応仕切れない箇所が多々ありました。このことから、事前の綿密な打ち合わせの必要性を再確認しました。

二点目として、今年度の自治会スローガンについて考えていきます。昨年度は『SA Y』。さて今年度は？

「英語がいいがえ」「漢字か？」と話し合い、最後に出た結論は『日常的なことにしよう』でした。これを基にスローガンを決定しました。

この二日間を通して、私達は全校生を率いていく難しさを感じたと同時に、楽しさを学びました。有意義な研修だったと思います。これから二年間、全校生一人ひとりが主役となるような自治会を創っていきましょう。皆さんの高い意識がより良い明日に繋がります。



一月二十日、二十一日両日に大学入試センター試験が実施された。大学への進学を目指す者にとっては避けては通れないこの試験は、受験生にとっては重要な第一関門となる。本校の3年生219名が夢を実現するため、本試験に臨んだ。

勝負！大学入試センター試験



冬期間恒例スキー授業

スキー授業を受けて

1年 白田 まみ
(高畠二中出身)

私は人生で二回しかスキーをしたことがありませんでした。スキー授業の班も最も易しい班でした。最初は転んでばかりで、班についていくのがやっとでスキーなんか大嫌いだと思いました。しかし、先生方は、フリー滑走の時間に、個別に指導してくださいました。おかげで、人並みに滑れるようになり、初めてスキーを楽しめるようになりました。

来年はもっと上手になれるように頑張りたいと思います。

国公立大146^{*}名現役合格

*延べ人数

主要大学の合格人数 (H19年3月)

京都大……	1名	山形大……	22名
北海道大…	2名	県立保健医療大学…	5名
東北大……	12名	筑波大……	5名

千葉大……	5名	早稲田大学…	1名
東京工業大学…	1名	津田塾大……	5名
横浜国立大学…	1名	東京理科大…	7名
新潟大学……	18名	(3月23日現在)	

京都大、北海道大、東北大、筑波大、秋田大医学部医学科など
難関大・学部学科に続々と合格



秋葉 大輝
サッカー部
高島一中出身

埼玉大学工学部建設工学科

受験生活を通して、時間を無駄に使わなくなり、改めて自分が、家族・先生・友達・後輩など様々な人に支えられていることを実感しました。また、教室は放課後になるとクラスメイト達が黙々と勉強をし始め、私はその姿に日々良い刺激を受けていました。そういう切磋琢磨できる環境も重要でした。

高校生活を通して学んだ最も大事なものは「感謝の心」です。自分がどれだけ多くの人に支えられて生きているか。部活できること、学べることは幸せなのです。今の自分があるのはすべて周りの方々、物のおかげなのです。大学受験が終わった今、高校時代を振り返って、本当にそう思います。



菅野 英志
野球部
米沢七中出身

東北大学農学部



大内 由梨香
弓道部
高島四中出身

東京学芸大学国際理解教育課程

私は部活が大好きで、1・2年生の頃は部活に多くの時間を費やしたので、その分週末の課題の量には泣きそうになったことが多々ありました。しかし、部活を通して社会に出ていく上での礼儀や作法を身につけることができたので、部活も勉強と同じくらい学べる場所だと感じています。

予習や課題、テスト勉強をするだけで精一杯でした。私はしっかりと家で勉強することが苦手だったので、1・2年生の頃からテスト前は図書館に行つて勉強するようにしていました。わからないとすぐに人に質問したくなるので、先生や友達がいっぱい周りに多くいてくれる環境は私にはぴったりでした。



高橋 瑞穂
バトミントン部
米沢三中出身

筑波大学生命環境学群地球学類

編集後記

「興譲館だより」第八号(三学期号)の発刊にあたり、貴重な写真や原稿を快く提供してくださった本校保護者をはじめ、相馬写真館さん、関係者の方々大変有り難うございました。この場をお借りして謝辞申し上げます。

今年度の「興譲館だより」では、保護者の生の声を記載していこうという方針により、2度、保護者よりご寄稿頂きました。来年度もまた、様々な新しい試みに挑戦していきたいと考えております。ご意見などございましたら、ご遠慮なく本校広報委員会までお寄せください。HPも随時更新しております。

一学期の行事予定

4月	5月	6月	7月
6日 始業式、入学式	12日 1年宿泊研修	11日 地区高校総体	13日 県甲子園予選
	21日 中間考査	12日 地区高校総体	
		1日 県高校総体	
		14日 1年登山	
		19日 体育祭	
	22日 2年大学講座		
	29日 期末考査		